

800m

北部九州

進出

松浦 堤



レース後、北九州地区予選進出を喜ぶ堤麟(右)松浦衣吹(左)



800m決勝で、400m付近を先頭で快走する松浦衣吹(右)と堤麟(左)

伝習館スポーツ

第7号 令和4年6月 伝習館高等学校 広報・中学募集課

全国高等学校陸上競技対校選手権大会福岡県予選が5月27日(29日)に博多の森陸上競技場で行われた。

北部九州大会出場

800mに出場した堤麟(3年東山中出身)と松浦衣吹(2年毛峰中出身)は、決勝で5着と6着となり、インターハイへの最終関門となる北九州地区予選会への進出を決めた。

堤は、積極的なレースが持ち味で、午前中の予選では南部大会で記録した伝習館記録をさらに1秒71更新し、1組1着で通過した。松浦も「先輩に続け」と自己記録を更新し、3組3着となり決勝進出を果たした。

作戦的中

決勝での「チーム伝習館」の作戦は、二人で力を合わせて自分たちのレースに持ち込むこと。持ちタイムで勝る他校の選手の「ラスト勝負」に飲み込まれるよりも「レースを引っ張ることで勝機を見出す」。1周目は伝習館の二人が先頭を走る、作戦どおりの展開となった。残り300m付近で松浦が「仕掛けた」ことで選手達が動く。先行した4人に堤がついて行く。松浦が少し遅れる。「いちばん苦しいところだ。先輩はしっかりと前を追いかけろ。先輩は小柄な先輩の「大きい背中」を、離されまいと必死に追う。粘った二人は、見事に5着と6着に入賞した。先輩・後輩の関係であって、いいライバルの二人。記録更新はまだ続く。

私立勢の中で光輝く「伝習館の星」二つ。公立の希望の星。

陸上競技

男子

- 1000m 予選 1組6着 松延核哉② 敗退 11秒26
2000m 予選 4組7着 ジェンキンス海② 敗退 23秒69
800m 予選 1組1着 堤 麟③ 進出 1分55秒03(伝習館記録)
3組3着 松浦衣吹② 進出 1分56秒53(伝習館記録)

女子

- 砲丸投 22位 小宮圭翔② 10m19
三段跳 13位 城後雄亮③ 13m06
4x400mR 予選 2組5着 伝習館 敗退
ジェンキンス・松延・堤・山口 3分25秒68
三段跳 3位 城後雄亮③ 13m06
砲丸投 22位 小宮圭翔② 10m19
4x400mR 予選 2組5着 伝習館 敗退
ジェンキンス・松延・堤・山口 3分25秒68

男子

- 三段跳 8位 古賀泉樹③ 入賞 10m70(伝習館記録)

女子

- 走幅跳 10位 古賀泉樹③ 5m22
三段跳 8位 古賀泉樹③ 入賞 10m70(伝習館記録)

明伝戦

連勝ならず

第5回明善・伝習館野球定期戦は5月28日、明善高校南グラウンドにて行われ、伝習館は4-13で敗れた。これで対戦成績は明善の3勝1敗となった。



初回に守備の乱れ

1回の裏明善は、一死から3塁打と単打で1点を先取した後、失策、死球につけ込み加算。その後も満塁の本塁打で計8点を取って試合の流れを大きく引き寄せた。

酒投げ「粘投」

酒見(2年大川桐英中出身)は、初回の制球の乱れが響いた。高めに浮いた球を痛打され、失策が絡み四死球を与えて失点を重ねてしまった。2回以降は、持ち味の「打たせて取る」投球でリズムを取り戻しただけに悔やまれる。16球の粘投で、自責点は「3」。次に期待したい。

試合巧者 明善

今年の明善のチームは、強かった。不安定な投手の立ち上がりや逃さない打撃力に加え、バント、ヒットエンドラン、盗塁を駆使して、相手の失策につけ込む「抜け目なさ」。筑後地区大会準優勝を経験して自信を得たチームは夏の選手権予選でも旋風を巻き起こそうだ。伝習館も、明伝戦で負けた年は、「悔しさ」を経験したチームが成長した戦いを見せてきた。今後に期待したい。

◆ 編集後記 ◆

北九州地区予選の進出おめでとう。堤君、松浦君の健闘を祈ります。南部大会で、ある光景を目にした。800mで県大会進出を決めた松浦君に、「堤とお前の違いは何か分かるか？」他校の先生が声を掛けていた「スタミナのなさですか？」「いや、初めから『行く』『行く』かんか」た。結果速報をLINEで見た瞬間に、「初めから『行った』な」と確信した。「応援してもらってる人」がたくさんいるということ。なんとありがたいことだろう。一生懸命に頑張っているらば、必ず誰かが観ていてくれる。部活動をやっている諸君には、そんな選手になって欲しい。

伝習館は令和5年度に200周年を迎えます

「文」と「武」はライバル関係!

